

# GS 新成長国債券ファンド

## 『愛称：花ボンド』



格付：**B-3**



CLUB ALCHEMISTA

新成長国の政府および政府関係機関などが発行する債券に投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

先進国を除いた新成長国の債券

利回り

-2.74%

### 概要

国内経済が成長過程にあるとゴールドマン・サックスが判断した、いわゆる先進国を除いた国、および地域の政府・政府関係機関などが発行する債券に投資し、信託財産の成長を目指す。毎月17日決算。

### リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	USD ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

Web: <http://www.daiwasbi.co.jp/index.html>

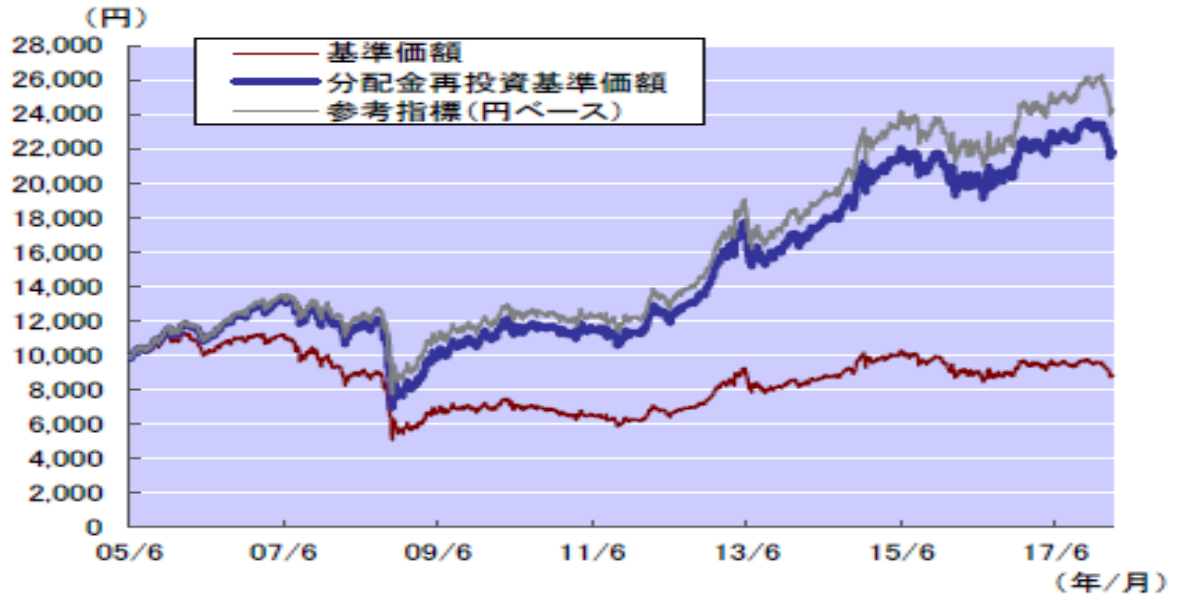
所在地： 東京都港区六本木6-10-1

六本木ヒルズ森タワー

### Summary

2月の新成長国債市場は、市場全体の動きを示す代表的な指数であるJPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）のリターンが前月末比-1.99%となった。今後の新成長国債券市場は、商品価格やボラティリティ水準（収益の変動性）などを注視する必要があるものの、利回り水準を考慮すると未だ投資妙味があると予想。また、2013年にFRB議長が量的緩和の早期縮小に言及したことを受けて市場が混乱したものの、以後、新成長国の経済に関する基礎的条件が改善したことから、先進国の金融政策正常化による新成長国への影響は限定的と見られる。このような環境下では、引き続き国別選択の重要性が増していると考え、特に財政健全化に積極的に取り組む国やバリエーションが割安な国などを選好している。しかし、米国の外交、貿易、財政政策の動向や、中国の景気減速の可能性などが新成長国に与える影響にも注視する必要があるとしており、ポートフォリオについては、インドネシアやアルゼンチン、南アフリカなどを強気に見る一方、フィリピンやウルグアイ、ペルーなどを弱気に見るとしている。以上のことから、リターン面を「B-」、リスクを「3」と判断する。

### 設定来基準価額推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。